

2023 年度 二チイキッズ伏見菅原保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024 年 1 月 4 日（木）～1 月 31 日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年3月16日（土）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	二チイキッズの保育理念・保育目標は園内に掲示し、全職員がそれを意識した保育に取り組めるようにしている。また、日々の保育においても「子ども一番」の保育内容となるよう立案した「ねらい」を全職員が共有した上で、保育に取り組むようにしている。
子どもの発達援助	子ども一人ひとりの発達の理解と関わり方を統一する為、クラスミーティングを丁寧に行ったことが、子どもたちの健やかな成長の支えとなった。また、発達支援センターの先生に「作業療法」の視点からの指導を受け、乳児の発達により良い援助にもつなげることができた。
保護者に対する支援	日々の連絡帳や送迎の際のやり取りの中で園での子どもの様子を丁寧に伝えるよう心掛けた。また保護者様のご理解とご協力の下、保育参観や運動会、作品展など保護者参加の行事を例年通り開催し、子どもの成長を共に認め喜び合える時間も設けることができた。今年度は、『座談会』と称した 0 歳児向けの広場の開催を週 1 回行い、地域の子育て中の保護者様への支援にも取り組むことが出来た。
保育を支える組織的基盤	ミーティングや会議、研修などを定期的に行い、全職員が保育の方向性を確認することで意思統一を図ることができた。また、今年度は『キャリアアップ研修』として各自研修を受講することで園全体の保育の質向上にもつながったと思う。

総評
<p>今年度は『五感に届く保育』をねらいとして保育に取り組んだ。0～2 歳児の時期に育てて欲しい感覚機能を様々な素材を使った感触遊びの中で刺激したり、季節を感じる保育、本物を取り入れた保育で豊かな感性や情緒の育ちの発達援助につなげることが出来たと思う。今後も子どもの発達につながる様々な感触あそびを取り入れ、心身共に健やかな成長につながる環境づくりに努めたい。</p> <p>次年度は、子どもの自己肯定感を高める言葉掛けを意識し『意欲』→『挑戦』→『達成感』を日々感じられる保育に取り組んでいきたい。また、保護者の皆様との信頼関係を深めながら子どもの成長を喜び合う毎日の中で『子ども一番』の保育に尽力したい。</p>